

事業名	県営畑地帯総合整備事業
-----	-------------

総事業費	20,646 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		施設の長寿命化・通作条件の向上を図り、更には作物生産性の向上を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	実施可能な土層改良箇所の配置、施工同意徴収・地元調整・工事説明会の実施。
	成 果	土層改良箇所の地元調整をスムーズに行うことができ、円滑に発注に繋げることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	地元からは、農道整備や土層改良の要望が強く、また畑かん給水栓を管理している土地改良区からも老朽化による給水栓の更新要望が寄せられている。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	畑かん給水栓更新による施設の長寿命化、農道整備による通作条件及び土層改良による作物生産性の向上を図るために多くの地区から要望があり、継続必要な事業である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	事業進捗を上げるべく、県担当者と密に協議しながら進めていく。
-----------	--------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	県営農地耕作条件改善事業（横山地区）
-----	--------------------

総事業費	5,222 千円
------	----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施（Do）

事業の意図			基盤整備を実施することで担い手の農地集積向上を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	県と調整しながら地元の通作条件の改善に努める。	
	成 果	基盤整備を実施することで担い手の農地集積向上を図る。	

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	担い手の集積率向上のため関係担当課と密な連携を図る必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	畑かん給水栓更新による施設の長寿命化、農道整備による通作条件及び土層改良による作物生産性の向上を図るために多くの地区から要望があり、継続必要な事業である。

④ 改善（Action）

2021年度方向性	今年度完了事業のため担い手集積率向上を図る。
-----------	------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	県営中山間地域総合整備事業西之表創生地区
-----	----------------------

総事業費	10,242 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	農家の営農体系強化と住みやすい農村集落の環境を創出する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	ほ場整備箇所の換地委員の選定・換地委員会の開催
	成 果	今年度委託発注箇所の換地委員会の開催を土改連・熊毛支庁・地元委員と調整を取り予定通り、開催することが出来た。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	これから、施工同意徴収などの作業が始まるが、名義の問題（相続未登記・所有者不在等）があり、土改連・熊毛支庁・地元委員と協力しながら事業執行を進めて行かなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	地域・地元の要望で事業採択され、計画的に整備されている。今後の課題としては、農地の名義の問題（相続未登記・所有者不在等）がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	県・土地改良区と事業箇所の優先順位を協議選定し、発注箇所の説明会等調整を図る。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	基幹水利施設保全事業（西京地区）
-----	------------------

総事業費	17,600 千円
------	-----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施（Do）

事業の意図	老朽化した基幹的な農業水利施設の機能回復と漏水を防止する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	施設全体の運用状態を把握し、県担当者・土地改良区との協議により優先順位の設定。
	成 果	施設全体の運用状態を把握し、県担当者・土地改良区との協議を行うことで工事が円滑に進められる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	予算状況にもよるが、測量設計と工事のバランスの取れた計画的な発注も必要だと思うので、県担当者と連携を密に進めていきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	老朽化した基幹的な農業水利施設の整備を行い、長寿命化と施設保全に繋げており、継続すべき事業である。

④ 改善（Action）

2021年度方向性	施設全体の運用状態を把握し、今年度及び来年度以降の整備要望箇所の把握に努める。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業
-----	------------------

総事業費	17,600 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	老朽化した基幹的な農業水利施設の機能回復と漏水を防止する。	
事業の実績 と 成果	取組内容	施設全体の運用状態を把握し、県担当者・土地改良区との協議により優先順位の設定。
	成 果	施設全体の運用状態を把握し、県担当者・土地改良区との協議を行うことで工事が円滑に進められる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	予算状況にもよるが、測量設計と工事のバランスの取れた計画的な発注も必要だと思うので、県担当者と連携を密に進めていきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	老朽化した基幹的な農業水利施設の整備を行い、長寿命化と施設保全に繋げており、継続すべき事業である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	施設全体の運用状態を把握し、今年度及び来年度以降の整備要望箇所の把握に努める。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	県営農地整備事業（通作・基幹）現和地区
-----	---------------------

総事業費	0 千円
------	------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施（Do）

事業の意図	農地の大区画化や農作物の効率的出荷・処理加工のための施設整備等との有機的な連携のもとに、農地の通作条件の改善や集出荷の効率化、農作業の機械化による生産性向上を図るため、農地への通作条件等を確保する農道を整備し、農家の生産条件と産地確立を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	令和4年度事業採択に向け、地元説明会を行い、概算要求に向けた県庁ヒアリングを受けた。
	成 果	県庁ヒアリングにより事業採択に向けた資料不足の指摘があった。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	事業採択に向けた県のヒアリング時での指摘事項（事業計画書等）を是正し、令和3年度中の予算要求の承認をとる必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	事業採択に向けた県のヒアリング時での指摘事項（事業計画書等）を是正し、令和3年度中の予算要求の承認をとる必要がある。県事業実施は、令和4年度からの予定である。

④ 改善（Action）

2021年度方向性	令和4年度の新規採択に向け、県担当者及び本課と協議調整していく。
-----------	----------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	県営農地整備整備事業（通作・保全）住吉地区
-----	-----------------------

総事業費	7,460 千円
------	----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施（Do）

事業の意図	施設の適時・適正な保全対策を実施し、より一層の施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	路線全体の状況を把握し、県担当者との協議により優先箇所を設定。
	成 果	路線全体の状況を把握し、県担当者との協議を行うことで工事が円滑に進められる。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	予算状況にもよるが、計画的な発注も必要だと思うので、県担当者と連携を密に進めていきたい。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	農道保全対策計画に基づいた補修・整備を実施することで、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る。令和元年度からの長期事業なので、計画的に進めていただきたい。

④ 改善（Action）

2021年度方向性	路線全体の状況を把握し、今年度及び来年度以降の整備要望箇所の把握に努める。
-----------	---------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	さとうきび持続的生産支援緊急対策事業
-----	--------------------

総事業費	330 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	中出し作業に係る経費の一部を軽減することで、さとうきび経営の安定化を推進し、栽培面積、生産量の維持・拡大を目指す。	
事業の実績 と 成果	取組内容	中出し料金を助成することで、さとうきび経営の安定化を推進し、栽培面積と農家戸数の維持拡大を図るため、さとうきび機械収穫を受託している西之表市農業振興公社に対し、予算の範囲内で補助金を交付した。
	成 果	機械収穫を委託する上で負担となっていた中出し料金を一部助成したことで、経営の安定化が図られ、生産意欲が向上し、栽培面積の減少は抑えることができた。しかし、地力の低下、メイチュウによる種苗の被害などが、目標を大幅に下回った大きな要因と考えられる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市農業振興公社から機械収穫作業を再委託されたハーベスタ組合からの実績報告が円滑に行われるよう、市農業振興公社と密に連携する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	機械収穫を委託する上で負担となっていた中出し料金を一部助成したことで、経営の安定化と生産意欲の向上につなげ栽培面積の減少は抑えることができた。令和元年～3年の3年間栽培面積の状況を見て継続するか廃止するか判断する。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	特になし。
-----------	-------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	自給飼料生産拡大事業
-----	------------

総事業費	4,912 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		飼料基盤の強化及び飼養頭数増による農家収益性向上。 市営種子島牧場の粗飼料生産量増による自給率の向上。
事業の実績 と 成果	取組内容	市営種子島牧場の牧草生産に要する機械7台を整備した。また、次期実施地区における事業参加要望農家との協議を進めた。
	成 果	機械導入を実施したとにより、牧草管理作業の効率化が期待される。 事業要望農家及び関係機関と連携し、次期実施地区の実施計画書の作成に向けた取り組みを行うことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	受益者負担が2割の事業であるが、施設整備については、建築基準に基づいた施工を行わなければならないことから、事業費が高額になる傾向にある。 事業費が高額になるに伴い、取得した施設等の固定資産税が重くのしかかり、事業参加を断念する農家もいる。 採択要件として熊毛地区で15ha以上（受益者1名あたり1ha以上）の造成・整備が必須条件のことから、受益面積確保に苦慮している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	飼料基盤拡大により飼料自給率の向上を図り、畜産経営基盤の安定化につなげるためにも、継続していただきたい。牧草販売において、牧草に落ち葉などが混ざっているとの指摘があったので、牧草の品質を下げないように気を付けていただきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	特になし
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	農道維持補修事業
-----	----------

総事業費	14,797 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		安全に移動できる道路
事業の実績 と 成果	取組内容	市道と同様に作業計画を立て、2班体制による伐開作業と危険箇所への補修作業を行う。各地域からの要望を受け、農道補修のためのハ工敷きや生コン、地域の草払い用燃料の支給業務を行う。
	成 果	地域住民からの連絡や点検パトロールにより、危険箇所等の早期発見、早期対応ができる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	これまで集落や受益者が維持管理を実施してきた箇所も高齢化により、管理ができない状況が増えることで、市が対応をせざるを得なくなる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	基本としている受益者による維持管理が困難な状況が見られるため、実施している事業である。地域からの要望は増していくと思われることから、事業の有効な手法、方策を検討する必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	農道の安全点検と伐開路線の調査計画を行い、農道の草払い作業、危険箇所の補修（舗装・陥没・路肩）、側溝清掃等を行う。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止ネット助成事業
-----	---------------

総事業費	1,554 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		鳥獣被害に対する自己防衛の推進を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	シカネット及び防鳥ネットについては、店舗において、助成額分を差し引いた額で販売し、その実績に基づいて適切な助成を行った。
	成 果	昨年度と比較すると、わずかに販売数が増加しており、ネットの普及に伴い、シカによる作物への被害報告は減少している。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	班回覧等で事業のお知らせを行っていたが、たびたび「ネットの助成は、あるのか？」との問い合わせがあり、全体への周知が行き届いていなかった。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	鳥獣被害への自己防衛推進を図るために効果があった。ネットが消耗品のため、2回目の購入者が出てきている。事業のさらなる周知と今後も継続した取り組みが求められる。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	農業者への事業周知を更に図る。
-----------	-----------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止活動お助け隊設置事業
-----	------------------

総事業費	2,372 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		農業者の鳥獣被害に対する自己防衛対策の意識向上に繋がる。また、被害報告から現地確認、捕獲依頼までを迅速に行うことが出来る。
事業の実績 と 成果	取組内容	市内の巡回により、シカ等の被害状況の把握をし、有害捕獲期間中に従事者へ情報提供を行うことで、効果的な捕獲を実施した。また、市民からの被害報告があった際に現地確認を実施し、必要があれば従事者への罾架設依頼を行った。
	成 果	鳥獣による農作物被害の報告を受けた際に、早急に現地を確認し、捕獲活動に繋げることで被害の拡大を抑えられている。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	侵入防止柵等の効果的な設置指導について、要請があまりないことから、広報等により情報提供を行い、被害防除への意識啓発を行わなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	被害報告や現地確認の速やかな対応ができています。農業者への指導助言を根気強く継続し、農業者の自衛の意識づけに繋げていただきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	更なる農業被害状況把握に努める。
-----------	------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止総合対策推進交付金事業
-----	-------------------

総事業費	1,000 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図	有効な鳥獣被害防止対策の普及啓発を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	農業者への自己防衛の手段として、狩猟免許取得のための講習会費用の助成を実施。 シカの捕獲強化のために従事者へ、くくり罠貸与のために購入。
	成 果	新規狩猟免許取得者 5 名（うち第一種銃猟 1 名、わな猟 5 名） くくり罠の故障等があったものについて、適時交換を実施し、捕獲活動のサポートを行った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	捕獲活動を実施しつつ、地域ぐるみでの鳥獣被害防除体制作りを推進する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	狩猟免許取得のための講習会費用の助成を実施し、新規狩猟者免許取得者が 5 名で自衛の意識づけになっている。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	狩猟免許取得の推進を図る。
-----------	---------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止総合対策整備交付金事業
-----	-------------------

総事業費	13,843 千円
------	----------------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		シカによる農作物への被害軽減が図られる。
事業の実績 と 成果	取組内容	協議会で金網柵資材を購入し、各地区組合で自力施工による設置を行った。
	成 果	ほ場を金網柵で囲むことで、シカの侵入を防ぎ、被害防止を図れる。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	金網柵の設置要望が多く、予算の範囲内での対応となることから、単年度で全てのほ場を実施することが出来ない。また、地域ごとに組合単位で申請しているが、実際、作業は、各ほ場の土地所有者ごとに行われていることが多く、作業の進行具合に差が生じて、結果、事業の完了が遅くなる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	金網柵は、効果大なので補助金がある限り続けていきたい。設置後の管理の指導によって、金網柵の長寿命化を図ってほしい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	金網柵設置後の管理状況の把握に努め、必要に応じて指導を行う。
-----------	--------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業
-----	------------------

総事業費	20,347 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	農業農村整備

② 実施 (Do)

事業の意図		シカ捕獲の推進を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	農作物被害発生予察による有害鳥獣捕獲指示による計画的な捕獲を実施した。
	成 果	指示期間に対し、1日平均約10頭の捕獲を行い、昨年度を上回る捕獲を実施した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	農作物への被害軽減をさらに図るために、被害状況等の情報を捕獲従事者へ提供し、効果的な捕獲を実施していく必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	引き続き農作物への被害軽減のために継続が必要である。捕獲頭数を3,000頭に増やしたことから、やっと減少傾向になった。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	鳥獣被害防止計画及び農作物被害発生予察に沿った捕獲活動の支援をする。
-----------	------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明